



No.473

平成20年(2008)

7月号

広報

金武

人口のうごき

総人口	11,072人(6)
男	5,468人(7)
女	5,604人(-1)
世帯数	4,789戸
(各区分人口)平成20年5月末日現在	
金武	4,821人(7) 転入 41人
並里	2,699人(3) 転出 30人
中川	920人(-2) 出生 7人
伊芸	927人(1) 死亡 13人
屋嘉	1,705人(-3) 結婚 5件
	離婚 3件
()内は増減を表す	



▲全国大会出場を決め、役場を表敬訪問した金武メダリストチームのみなさん。

金武メダリスト
陸上クラブ

全国大会出場へ

平成二十年度金武町緑化活動

五月二四日、「みどりの日」にちなんで、緑豊かなまちづくりを推進し、家庭や職場等、地域において積極的に緑化に取り組むことを目的に、平成二十年度金武町緑化活動が行われました。

同活動には町職員や各区、商工会、社会福祉協議会職員等が参加し、国道沿いや総合保健福祉センター、教育施設等に分かれて、花の植え付けが行われました。葬祭場付近の国道三二九号線沿い壁面にはインパチェンス等、約三千本の花が植え付けられ、色とりどりの花々が壁面を彩っていました。



▲国道沿いで作業の様子



▲総合保健福祉センターでの作業の様子

**町内独居老人宅の
水道施設点検補修を実施**

6月1日から6月7日までの水道週間(国、県、市町村および水道事業体により全国一斉に水道週間の開催)にあたり、本町では6月4日に、独居老人宅の水道施設点検補修が行われました。

同施設点検補修には町内の12業者が6組に分かれて30軒のお宅を訪問し、台所やトイレ、浴室の漏水点検や、敷地内の水道管点検等を行いました。



▲水道施設点検を行った町内業者のみなさん

**仲田幸子さんが
金武町育英会に寄附**

元教育長で多年にわたり教育行政に尽力された故仲田和夫さんの奥様の仲田幸子さんが、育英資金として役立てて欲しいと、香典返しとして金武町育英会に寄附されました。故仲田和夫さんは金武町の教育や人材育成を常に気にかけておられたそうで、今回の寄附はその思いを受けてのものでした。

仲間一教育長は「ありがとうございます。育英会の運営に有効活用させていただきます」と、感謝の言葉を述べました。



▲寄附贈呈の様子(金武町教育委員会)

平成二十年度『土壌保全の日』

六月四日、屋嘉区公民館で、平成二十年度『土壌保全の日』のイベントが開催されました。

同イベントは、農業生産活動の現場から土壌の流出を未然に防止するため、土壌流出の環境に及ぼす影響や地力の低下など、土壌保全の必要性について、地域住民や農家個々の意識の高揚と啓発を図ることを目的に開催されています。

イベントでは、緑肥による赤土流出防止対策についての講演や、畑に場所を移し、レモングラスを植えつけ赤土流出を防ぐ等のデモンストレーションが行われました。



▲講演のようす



▲レモングラスを植えるデモンストレーション

不法投棄を許すな! ごみ不法投棄等 県下一斉パトロール出発式

5月30日、金武町役場玄関前駐車場で、中部保健所管内平成20年度ゴミ不法投棄県下一斉パトロールの出発式が中部保健所、石川警察署、町役場、県産業廃棄物協会等が参加して行われました。

出発式終了後には町内のパトロールが行われ、不法投棄の現状を確認・調査しました。



▲出発式のようす

メタボ撲滅を訴え 沖縄一周

南城市佐敷の新城辰夫さん(67)がメタボリック症候群の解消をアピールしながら、各種健診の受診を広く県民に呼び掛けるため、沖縄本島一周マラソンに挑戦しました。

5月24日に、南城市のつきしろ公民館を出発した新城さんは、29日にはコース途中の金武町役場に立ち寄り、「自分の体の状態を知ることが健康づくりの第一歩」と健診の受診を訴えました。

新城さんは見事に466・2キロを完走し、5月31日午後、南城市玉城庁舎にゴールを果たしています。



▲沖縄一周を走り切った新城辰夫さん(写真中央)

すこやかライフ
サポートサービス

金武町すこやかライフサポートサービス モニター募集(200名)

この事業は、IT技術を活用した健康の見守りサービスで、自分のペースで自らの健康を管理することを目的としたプロジェクトです。(平成19年度から平成21年度まで予定)

現在、平成20年10月以降に参加していただけるモニター200名を募集しています。自分自身の健康のため、また、ご家族皆で、職場の仲間同士でモニターになってみませんか!!

※この事業に『参加してみたい』『まだ参加するかはわからないけど、もっと詳しい話を聞いてみたい』方は、下記の連絡先までお気軽にご連絡ください。



▲血圧計



▲体重計(兼体脂肪計)



▲体動計

※これらのセンサー機器は一例です。また写真は実際と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

【対象者】

- ① 日常生活を送るのに支障がなく、ご自分の健康管理に関心のある方
- ② 健診結果を提供していただける方
- ③ 30歳～74歳の方
- ④ 携帯電話またはパソコンを使用していただけます

【内容】

- 自宅において、血圧計や体重計(兼体脂肪計)、体動計(歩数計のようなもの)等のセンサー機器で身体情報を測定し、測定結果をパソコンや携帯電話で送信、そして医師等から助言をもらい、自分の健康管理に役立てることができます。
- センサー機器を貸与します。パソコンや携帯電話をお持ちでない方は携帯電話を貸与できます。

【平成19年度の活動状況】

H19年10月 特別講演会

H19年12月 ぬちぐすいフェスタにコーナー開設

H20年 2月 20名のモニターに事前テスト実施
(継続中)

モニターの声より



車で通勤していますが、遠くに車を停めて歩くことを意識するようになりました。

意識して歩くようになったら、足が軽くなり歩きやすくなりました。

応募締切 **2008年8月18日** まで

【お問い合わせ先】 金武町役場 保健福祉課

金武町総合保健福祉センター 『すこやかライフサポートサービス事務局』

電話 098-983-2333 担当 宮木(みやき)・藤井(ふじい)

町長と町民を 結ぶコーナー

ゆいまある

町の青年たちが若者の優先雇用を要請

6月13日に、町商工会青年部、町農業青年クラブ、町漁協壮青年部会、町青年団協議会の代表が、ギンバル訓練場跡地利用における若者の優先雇用について要請するため、役場を訪ねてまいりました。要請文の中には「若者が町内で働く意思はあるものの、雇用の場が少なく町外に居住している方が多数いる。このままでは青年会活動や地域活動、伝統芸能の継承等にも支障をきたし、地域の活性化に結びつかない」とありました。私は、若者達が町の将来を真剣に考えていることに感動し、心強く頼もしく感じました。私からはネイチャーみらい館をもっと有効に活用し、この4団体の青年達がアイデアを持ち寄り1つになって何かにチャレンジしてほしいということを提案しました。町としましても若者の雇用創出に邁進するとともに、4団体と三役の勉強会を開くなどして一緒になって町づくりに取り組んで参りたいと思います。



町民からのご意見

Koe 1 先日、町営グラウンド内で犬と散歩中、突然職員に「犬は散歩させるな」等怒鳴られとても不愉快でした。私は、ちゃんとマナーを守っているのに・・・職員は「草刈すると犬のフンが身体に飛んでくる」等と話していました。

回答 公共施設内で職員が利用者に対して怒鳴り、罵声を浴びせたことは、絶対にあってはならないことで、心から深くお詫びいたします。今後そのようなことが起こらないように指導を徹底してまいります。

社会教育課では、町営グラウンド、金武地区公園、体育館等の施設管理につきましては、町民が安心して気軽に利用しやすい体育施設の運営に心がけてまいります。



これからも町民の皆様からの御意見をお待ちしております。

新たなスピード☆スターの誕生!



6月8日、国頭村陸上競技場で、第24回全国小学生陸上競技交流大会沖縄県予選が行われ、金武町からも24名の児童が参加し、男子共通(5・6年生)400mリレーでは金武メダリストチーム(吉田海斗・仲間翔太郎・上原一郎・宇久田海貴)が52秒80の好記録で見事優勝しました。また6年男子100mでは宇

久田海貴くん、仲間翔太郎くんが1位・2位を独占しました。

6月11日には金武町役場を表敬訪問し、優勝を報告しました。なお、金武メダリストチームは8月30日に東京国立競技場で開催される全国大会に派遣されることになっています。

上位入賞者のみなさん

種目	順位	氏名	記録
6年男子100m	1位	宇久田 海貴	13秒52
	2位	仲間 翔太郎	13秒77
男子共通400mリレー	1位	吉田海斗・仲間翔太郎 上原一郎・宇久田海貴	52秒80
ボール投げ	2位	城間 裕喜	64m52cm
5年女子100m	3位	伊芸 さくら	15秒81
	5位	下地 久美重	15秒95
400mリレー	6位	大城優希乃・真栄平美咲 下地久美重・伊芸さくら	1分00秒84



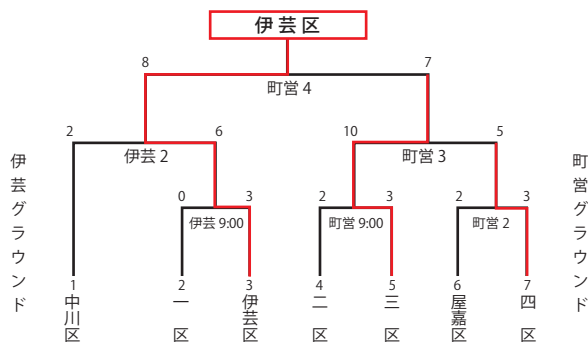
第30回金武町民体育大会・軟式野球競技

6月1日、町営グラウンドで、金武町民体育大会・軟式野球競技(主催:金武町体育協会)が行われました。

真夏を思わせるような陽射しが降り注ぐ中、今年は接戦が多く、太陽にも負けないような熱い闘いが繰り広げられました。

決勝戦は伊芸区と三区で行われ、延長戦の末に伊芸区が優勝し、昨年決勝で涙をのんだ雪辱を果たしました。

軟式野球大会対戦表



▲優勝の伊芸区チーム



▲準優勝の三区チーム

5月31日から2日間の日程で平成20年度沖縄県高等学校総合体育大会フェンシング競技(主催:県高体連)が金武町立体育館で行われました。2010年に開催される「美ら島 沖縄総体」では、フェンシング競技が本町において開催される予定となっています。

競技では、1対1で向き合い素早い動きで剣を繰り出す迫力ある動きに、観客は目を奪われていました。



▲素早い動きに息をのむフェンシング

沖縄県高校総体フェンシング競技

第46回少年野球(北部支部)南ブロックが宜野座村営グラウンドで行われました。決勝戦は金武ジュニアスターズと金武ビクトリーキッズの町勢対決となりましたが、18対3でジュニアスターズが制し、見事大会五連覇を達成しました。

なお、両チームは7月19日から南城市で開催される県大会への出場が決定しています。



▲五連覇を達成した金武ジュニアスターズ

金武ジュニアスターズが大会五連覇!

祝・ZUKANメジャーデビュー

金武町(4人)および宜野座村(1人)出身のメンバーで構成されるバンド「ZUKAN」がこの度メジャーデビューすることとなり、6月8日には金武町アクティブパークで記念ライブを行いました。

ライブには町内外からたくさんの観客が訪れ、デビュー曲『ハイジ』等が演奏されるなど、盛り上がりを見せていました。



▲盛り上がった ZUKAN “凱旋ライブ”

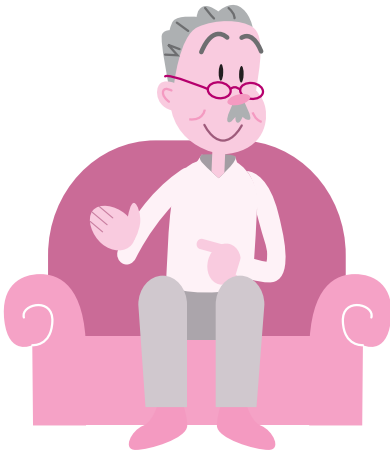
金武アクティブミュージックフェスタ KOZA 音楽祭 金武地区予選大会

5月31日、金武アクティブパークで、金武アクティブミュージックフェスタ・KOZA 音楽祭金武地区予選大会が行われました。

6組のバンドが参加し、金武地区代表の座を懸け、甲乙つけ難い歌と演奏で争われましたが、Selfish (セルフイッシュ)、COCORE (ココア)、ZEROSHOCK (ゼロショック) の3バンドが見事に代表の座を勝ち取りました。



▲迫力ある演奏のようす



65歳以上のみなさん、7月から平成20年度介護保険料普通徴収の納付が始まります。

保険料の納めかたは、年金から天引き（特別徴収）される場合と、納付書による納付（普通徴収）の2つに分かれます。いずれの納めかたになるかは、老齢・退職（基礎）年金等の受給額などで決まります。

特別徴収の方は、すでに仮徴収（4月・6月・8月の年金から天引き）されています。

特別徴収 = 年金から天引きされます。

【対象者】

老齢・退職・障害・遺族年金が、
年額18万円以上の方

【納め方】

偶数月に支払われる年金から、
介護保険料があらかじめ天引きされます。

普通徴収 = 納付書で個別に納めます。

【対象者】

老齢福祉年金受給者
年度の途中で65歳になった方
年度の途中で他の市町村から転入した方
年度の初め（4/1）には年金を受給していなかった方

【納め方】

納期ごとに、広域連合から送られてきた納付書をもって指定の金融機関などで納めていただくか、口座振替によって納めていただきます。
※納期は7月(第1期)～翌年3月(第9期)となります。

※口座振替をご利用ください!

保険料が金融機関から自動的に振り替えられるため、手間が省け、納め忘れもなくなります。

取り扱い金融機関で、通帳届出印、通帳、納付書を持参して「口座振替依頼書」に必要事項を記入して申し込みます。
(口座振替の開始は、申し込みの翌月以降となります。)



★介護保険料納付のお願い★

介護保険料の納め忘れがありますと、介護サービスを利用した際に、利用料を一旦全額支払らなければならなくなったり、負担割合が三割になったりするなどのペナルティーが課せられる場合がありますので、納め忘れのないようよろしくお願い致します。

現在の算定

医療分(加入者全員)
所得割 7.1%
資産割 30%
均等割 15,000円
平均割 17,000円
【限度額 56万円】

介護分(40～64歳)
所得割 1.2%
資産割 6.0%
均等割 5,500円
平均割 3,000円
【限度額 9万円】

平成20年度からの算定

医療分(加入者全員)
所得割 4.7%
資産割 18%
均等割 13,000円
平均割 14,000円
【限度額 56万円】

介護分(加入者全員)
所得割 1.9%
資産割 8.0%
均等割 5,500円
平均割 3,500円
【限度額 12万円】

介護分(40～64歳)
※介護分については制度改正の影響がないために現状維持

年間国保税額



介護保険料減免のお知らせ

【対象者】

下記の事項①～③のすべてに該当する方（例外として①～③のいずれか一つが欠けた場合でも④に該当する方）が対象となります。

- ①世帯の年間収入額が生活保護基準以下であること
- ②市町村民税課税者に扶養されていないこと
- ③資産等（自宅以外）を活用してもなお、生活が困窮している状態にあること
- ④その他、広域連合長が上記に准ずると認めるもの

【承認後の介護保険料】

金武町 第2ランク

区分	対象者	保険料率	保険月額	保険料月額
第1段階	・生活保護受給者 ・老齢福祉年金受給者で世帯全員が住民税非課税	基準額×0.5	2,293	1,147
第2段階	世帯全員が住民税非課税	基準額×0.65	2,982	2,293
第3段階	本人が住民税非課税	基準額×0.75	3,440	
第4段階	本人が住民税非課税で世帯に住民税課税者がいる場合	基準額	4,587	
第5段階	本人が住民税課税で前年の合計所得額が200万円未満	基準額×1.25	5,734	
第6段階	本人が住民税課税で前年の合計所得額が200万円以上の方	基準額×1.5	6,881	

(月額単位：円)

1/2 減へ

第1段階の保険料へ

※保険料の減額は、承認されたのち変更されます（ただし、承認前の納期に係る保険料は減額されません。）

【申請に必要なもの】

○持参していただくもの

- ・印鑑（認印可）
- ・年金支給通知書等（年金額が確認できるもの）
- ・被保険者の世帯全員の預金、貯金通帳
- ・有価証券
- ・身体障害者手帳
- ・加入している健康保険証
- ・ご本人及び世帯に働いている方がいる場合、給与証明書、また事業をしている場合は所得の収支が確認できるもの

○市町村や久場にて発行してもらうもの

- ・資産評価証明書（資産がない場合は無資産証明書）

【問い合わせ先】

○沖縄県介護保険広域連合

〒904-0197

沖縄県中頭郡北谷町北谷2丁目6番地2

TEL 098-921-7802（業務課賦課徴収係）

○金武町担当課

TEL 098-968-3559（保健福祉社会福祉課）

平成20年度国民健康保険税が変わります。

・どうして変更が必要なの？

今回の医療制度改革により、平成20年4月に後期高齢者医療制度が創設されました。これに併せて国民健康保険制度年齢の上限設定（0歳～74歳まで）、国民健康保険の運営に欠かせない財源の変更等と大きく変更されたために国民健康保険税も見直す必要ができました。

・どこが変わるの？

寿来の国民健康保険税は「医療分」と「介護分」の2つの項目により年間の国保税額となっていました

が、平成20年度は新たに後期高齢者医療制度への支援金として「支援金分」の項目が新設となります。この「支援金分」は若年者全員でお年寄りの医療費を助け合おうとする目的から新たに作られた項目となります。平成19年度までの「医療分」が2つに分裂するような形態となり、そのまま上乗せというものではありません。

また年間の国民健康保険税の限度額も「医療分」が56万円から47万円へ、新たに設けられた「支援金分」が12万円となりました。「介護分」については税率、限度額ともに変更はありません。

後期高齢者医療保険料納付のお知らせ

～7月から納付書による徴収(普通徴収)が始まります。～

今回、納付書が送られる方は、

**4月1日から制度に加入されている方で、
保険料が年金から天引きされていない方です。**

ただし、会社などの健康保険に被扶養者として加入されていたと認定された方(※)は、軽減措置の対象となり、9月まで保険料が徴収されません。

(※)会社などにて資格喪失の手続きが必要となります。正確な保険料が算定できない恐れがありますので、まだ、手続きがお済みでない方や手続きを行ったかご不明な方は、会社などに確認するとともに、お住まいの市町村窓口にお知らせください。

平成20年度の納期は、次の通りです。

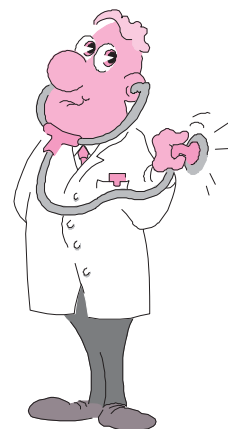
納付月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
普通徴収				1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期

4月2日以降に制度に加入された方については、8月以降、順次納付書が送付されます。

- 現在、会社などの健康保険に加入されている **65歳以上75歳未満**の方で、3月まで市町村から障がい認定を受けて老人医療を受給されていた方へ

【重要なお知らせ】

会社などの健康保険に留まることを希望される場合には、市町村窓口で、4月に送付された後期高齢者医療制度の被保険者証を返還するとともに、障がい認定の撤回の申請を行う必要があります。(会社などでは手続きを代行できません。) 手続きを行わない場合、保険料が賦課されますので、速やかに市町村の窓口までご連絡願います。



- **国から均等割7割軽減の方等に対して新しい軽減措置が発表されました**

実施するためには、7月に予定されている広域連合議会において条例改正が必要となります。対象の方に対しては、8月以降に変更後の保険料で納付書が改めて送付されます。

口座振替が便利です!

保険料の納め忘れがなく、納めに行く手間も省けて便利で安心な口座振替がおすすめです。

納付書

預金通帳

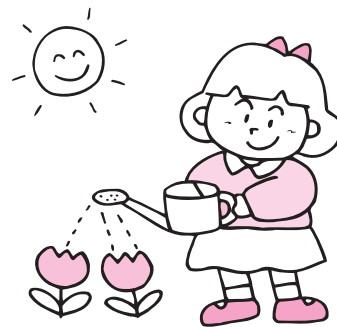
通帳の
届け出印

これらを持って、指定の金融機関でお申込みください。

育成資金の貸付けのご案内

自動車事故が原因で保護者が死亡したり、保護者が重度の後遺障害を残すこととなったために生活が困窮しているご家庭のお子様の被健全な育成が図られるよう、義務教育修了までの成長期における経済的な手助けを行う貸付制度です。

- ★貸付対象者 ⇒ 自動車事故により死亡した方または重度の後遺障害が残った方のお子様（義務教育終了前の児童）
- ★貸付金額 ⇒ 1人につき最初 一時金15万5千円、以後月額2万円
小学校、中学校入学時に 入学支度金4万4千円
- ★貸付期間 ⇒ 貸付決定時から中学を卒業するまで
- ★利子 ⇒ 無利子
- ★貸付金の返還 ⇒ 貸付期間終了後6ヶ月または1年の据え置き期間経過後（高校、大学等への進学者は卒業まで返還を猶予）



介護料の支給制度のご案内

介護料は、自動車事故を原因として、「脳」、「脊髄」または「胸腹部臓器」を損傷し、重度の後遺障害を持つため日常生活動作について「常時」又は「随時」の介護が必要となった方に支給します。

- ★対象者 ⇒ 自動車損害賠償責任保険・共済において認定された後遺障害等級により、当機構の介護料受給資格が決定します。
- ★支給方法 ⇒ 介護料受給資格認定を受けられた方に、3ヶ月分をまとめて（3月、6月、9月、12月）に支給します。

※申込・問合せ先 独立行政法人自動車事故対策機構沖縄支所
那覇市前島2-21-13
電話 (098) 862-8667

*** 知っていますか？ 建退共制度 ***

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。事業主の方々は、現場で働く労働者の共済手帳に働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

加入できる事業主：建設業を営む方
対象となる労働者：建設業の現場で働く人
掛金：日額310円

ホームページ「建退共」に、退職金の試算・パンフレット請求等、建退共制度の知りたい情報が記載されています。ぜひ、アクセスしてご覧ください。

★特長

- ◎国の制度なので安全、確実、申込手続きは簡単です。
- ◎経営事項審査で加点評価の対象となります。
- ◎掛金の一部を国が助成します。
- ◎掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。
- ◎事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

アドレス <http://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>

★詳しいことは、もよりの建退共沖縄県支部へお問合せ下さい。



建退共沖縄県支部

〒901-2131 浦添市牧港五丁目6番8号 沖縄県建設会館 TEL：098-876-5214

平和への誓いと願いを込めて…

平成二十年度金武町戦没者追悼式

六月十二日、芳魂の塔で、平成二十年度金武町戦没者追悼式が行われました。朝から降り続く雨の中、たくさんの遺族が参列し、祈りを捧げました。

式典では、参列者全員で黙祷を捧げたあと、儀武町長が式辞を、金武町遺族会の仲田一夫会長と松田義政議長が追悼の言葉を述べ、金武小学校代表の幸喜千佳乃さん、中川小学校代表の照屋里菜さん、嘉芸小学校代表の石川真吾さん、金武中学校代表の保良健太郎さんが平和への誓いを述べました。

金武中学校代表の保良健太郎さんは「なぜ戦争は起こったのか。沖縄は戦場となったのか。尊い命が犠牲になったのか。私たちに出来ることを学習し、『戦争はいやだ』と大きな声で言い、尊い平和をみんなで求め合って創りあげていける世の中にしていきたいと思えます。」と誓いのことばを述べました。

最後には儀武町長をはじめ関係者らが献花を捧げた後、参列者全員で焼香を行い、戦没者の御霊を慰めました。



▲献花を行う儀武町長



▲誓いのことばを述べる保良健太郎さん



▲▼焼香を行う参列者



**平和への誓いと
願いを込めて…**

編集後記

金武小学校の児童達がやってくれました。全国小学生陸上競技交流沖縄県予選大会で金武メダリストチームが四百メートルリレーで一位。百メートルでは、一位、二位を独占しました。その他の競技でも上位進出し、優秀な成績を収めています。

私が小学生の頃は、県大会に行くと、町内レベルと県レベルの違いに圧倒され、予選も通過できませんでした。今回、全国大会に出場する児童の皆さんには、全国レベルに臆することなく自分の力を試してきてもらいたいです。

陸上王国復活。かつて金武町は「陸上王国」と呼ばれていた時期があったそうです。その「復活」は多くの町民の悲願のようです。その兆しが見えてきました。児童たちの頑張りを見守り、エールを送りましょう！

しかし、ひたむきな人の汗は美しいですね。額に光る汗は人を感動させます。その汗がいつか実を結びますように…。

よし、私も見習って何か運動を…冬から始めます。だって夏は暑いし、汗かきちゃいますから。